

三宅島の現状（その２）

平成14年1月10日
現地災害対策本部（三宅島）

明けましておめでとうございます。

今年こそは、是非火山ガスが止まって、皆で島に帰りたいものです。

【気象及び火山活動の状況】

昨年から今年の冬は、寒さが厳しく、一旦冬型の気圧配置になるとなかなか回復しません。上空の偏西風の蛇行が原因で、ブロッキング低気圧になってしまうようです。

このような気象状況が発現したのが、ちょうど復旧作業が休みの期間で本当に良かったと思います。船の航行はほとんど不可能な状態でした。

また、火山活動に大きな変化はありませんが、火山ガス(SO₂)の量は1月9日の観測で日量8,300トンから8,900トンと、依然として多量の放出が続いています。SO₂の濃度も西風の強い日には三池地区で連日3～4ppmが観測されています。

【年末年始の状況】

年末年始は、支庁3、村1、村消防本部2、気象庁1、消防庁2、警視庁4の13名が正月返上で火山活動の調査や島の保安業務を行いました。

元旦には火の山峠で初日の出を拝みました。東海上には下層雲がありましたが、6時50分頃に雲の上に太陽が顔を出しました。富賀神社に皆で初詣にも行きました。境内の杉などもガスの影響でかなり枯れ込んでいます。しかし、静けさは以前のままです。皆復興三宅島、全島民帰島を祈りました。この写真は、下記のホームページに載せてあります。

3日にはNHKのヘリコプターによる中継がありました。復興三宅島の文字を書いて撮影してもらいました。その様子は、4日のテレビで中継されました。

年末から、年始にかけて強い冬型の気圧配置になり、強風と寒さで本当にまいりました。2日から3日にかけては雪やあられがふったほどです。穏やかだった日は、5、6の二日だけでした。7日からはまた冬型になり、8日には早朝に激しい雷雨に見舞われました。中でも4時22分に落ちた雷は、滞在班に大きな打撃を与えました。東電の発電機が止まってしまったのです。幸いに滞在拠点である三宅支庁は自家発電機があり、生活には困りませんでした。一部の観測機器や通信機器に障害が発生し、水道や電話が止まる可能性もありました。特にお隣の御蔵島村でも電話が通じなくなるのではないかと心配されました。

東京電力は、翌9日には復旧班が消防庁のヘリで渡島し、昼過ぎには全島の通電を再開してくれました。何もない島で本当にヘリコプターと電気のありがたさを知った二日間でした。

【就労情報】

村役場では就労情報を提供し広報しておりますので、就労を希望される方は三宅村村民課避難対策係（代表03-5321-1111 内線45-642）にご相談ください。

なお、直近の情報は、ホームページ「三宅島を離れた村民のみなさまへ」をご覧ください。
(アドレス <http://www.miyakemura.com>)

問い合わせ先 三宅支庁総務課行政係 電話：03-5320-7854

「三宅島火山活動災害 第2回生活実態調査」集計結果の概要

東京都三宅村 平成13年12月

1 調査の方法

- (1) 対象 平成13年10月1日現在の住民基本台帳に基づく世帯主 1,982世帯
(ただし、避難後の再移転先不明世帯及び平成12年9月4日以降の転入者を除く)
- (2) 調査方法 記名式郵送調査法
- (3) 調査期間 平成13年10月18日～11月2日
- (4) 回収率 80.9% (回収数:1,603票)

2 集計結果の概要

(1) 一時帰宅に基づく被害の実態

- 全島避難から一年以上が経過し、これまで外部から分からなかった住宅の被害状況が一時帰宅によって明らかになった。アンケートからは、ネズミなどの小動物による被害や火山ガスによる金属の腐食などが起きていることが把握できた。
- 被害の程度は、「補修すれば住める程度の被害」が約5割と一番多く、「補修の必要なし」も約3割^{3/8}あった。しかし、「補修だけでは住むことが難しい」という回答が59世帯(4%)あった。

(2) 生計の実態

- 3月に実施した第1回調査で13%であった無職が今回の調査では9%であった。島外避難に伴って、いったん職を失った人の中に新たに就業する人が増えていることを示している。
- 就労者がいる世帯は51%であり前回調査の36%から大幅に増加している。一方、求職者がいる世帯は22%で、求職者の合計は400人を越えている。
- 避難前と比べた収入の状況は、「まったくなくなった」(16%)、これに、「5割以上減った」、「5割ぐらい減った」を合わせて避難前に比べ大きく収入が減った世帯は35%であった。前回調査(40%)と比べ減少している。
- 生計の状態については、「何とか暮らせている」と「避難前と変わらない」が61%を占めた。一方「非常に苦しい」と「苦しい」と答えた人は32%で、前回(29%)に比しやや増加している。年代別では50歳代から70歳代の中老年世代が他の世代に比して多くなっている。
- 収入の状況と生計の状態の関係をみると、収入が「5割ぐらい減った」から「収入がなくなった」と大幅に減少した世帯に生活が「苦しい」・「非常に苦しい」と答えた人が多かった。
- 「生活費が不足している」と答えた世帯は35%であり、不足額は半数が7万円以下であった。また、「不足していない」と答えた世帯は37%であった。
- 生活保護制度について見ると「今後困ったときに相談したい」が41%と最も多い。一方「生活が非常に苦しい」と答えた世帯の中で「早期に相談したい」と答えた世帯は19%に留まる。

(3) 借入金の実態

- 「借入金がある」世帯は27%であった。借入金に関する要望で最も多かったのは「返済延長」

で、次が「利子の免除・補給」である。また、住宅や車のローンへの支援の要望も多い。

(4) 住宅の実態

○ 66 %の世帯が公営住宅に入居しており、次に多いのが「子供の家」の7 %である。住宅の形態は前回とほぼ同様であり、ほとんど動きがない。

(5) 砂防施設・防災対策について

○ 砂防事業の進め方として、7割以上が「人家の多い場所などの溪流を優先的に選定し、順位を決めて整備するべきである」と答えている。

○ 砂防施設建設のために土地の買い上げを求められた場合の意思について、代替地の提供も含めて8割以上が「協力する」と答えている。

○ 砂防施設建設にあたって配慮してほしい事項は、「危険な農地や自宅を移転しても、しっかりした砂防施設をつくり泥流被害を最小限にしてほしい」、「できるだけ集落のコミュニティを壊さないようにしてほしい」、「できるだけ自然を残すようにしてほしい」であった。

○ 帰島後、大雨時に伝えてほしい情報は、「避難勧告や自主避難の呼びかけ」(78%) が最も多く、「泥流発生の情報」、「避難場所や避難路などの情報」が約5割となっている。

○ 防災対策への自由意見では、泥流対策の推進はもちろん、将来の島の観光にも配慮し、自然を上手に利用した設計や樹木を植えるなど自然景観に配慮した対策を望む声が多い。

(6) 復興についての意向

○ 9割の島民が帰島したいと答えているが、内4割は生活の目途が立てばという条件付きである。

○ 帰島時に島民が心配していることは、「家財等の購入」(58%)、「家屋の補修」(45%)、「泥流」(44%)、「宅地・農地の土砂除去」(31%)であった。

○ 島の将来像については、「今まで通りの島」が半数近くの回答であり、飛行機の増便などの空路の確保や航路の確保など島外との交通路の整備を望む声が多い。

(7) 行政への要望

○ 「帰島の見通し」、「帰島が可能となるガス濃度の公表」と「帰島後の支援策の公表」の声が多い。また、「定期的な一時帰島」を望む声も多かった。

●まとめ

以上の結果から、全般的な傾向としては、無人となった島内ではいろいろな被害が出始めていることが一時帰宅によって確認され、今後の被害の拡大を心配する島民からは住宅の維持保全のための継続的な帰宅の希望があった。

前回の調査に比べ、就労者の増加が見られた。しかし、生計の状況で見ると生活が苦しい世帯は3割であり前回とほぼ同様である。生活が苦しい世帯を年代的に見ると、50歳代から70歳代の割合が多くなっている。

帰島希望者は9割にのぼる。このため島の防災対策に不可欠な砂防事業への期待が大きく、多くの島民が事業への協力の姿勢を示している。

行政への希望としては、帰島時期に関する情報の提供や避難生活と帰島時の支援を求める声が多い。

屋根被害状況調査申込みについて

三宅村では昨年の10月に一時帰宅された方を対象に屋根の応急修繕の意向調査を実施し、対象家屋の現地調査に基づき、調査結果の報告を行い、12月より修繕を希望する方の修繕工事も三宅島職工組合により実施されております。現地調査結果をみますと特にトタン屋根の被害の進行は予想以上に早いものと思われまます。トタン屋根の家屋で施工後概ね10年以上経過した家屋については調査の必要があるかと思われまますので調査を希望される方は下記により申し込みをお願い致します。

記

- 1、三宅村への現地調査依頼（電話・FAX可能）
- 2、現地調査員派遣（被害程度規模確認・住宅規模・写真撮影）
- 3、三宅村より依頼者への調査結果報告（写真・調査結果報告書）

申し込みは電話・FAXで受け付けいたします。

*FAX申込書は裏面に印刷しております。

連絡先

三宅村新宿総合事務所

〒163-8001 東京都西新宿2-8-1 東京都庁第1庁舎南41階

電話 03-5320-7824

FAX 03-5320-1603

災害復興室施設整備担当課住宅係

担当 平井 正人 高松 克己

屋根被害状況調査票

屋根の現状調査を希望されますか？（いずれかに○印で記入）

1.希望する

2.希望しない

希望する と答えた方は、被害程度により修繕を希望されますか？

1.希望する

2.希望しない

三宅村職工組合からのお知らせ

三宅村職工組合では、三宅村で実施した屋根修繕意向調査に基づいた現地調査結果により希望者を対象とした屋根（雨漏り対策）修繕を下記のとおり実施しておりますので、お知らせ致します。修繕を希望される方は三宅村職工組合に申し出て下さい。

記

1 屋根修繕の手順

- ・三宅村への現地調査依頼（電話・FAX可）
- ↓
- ・三宅村・職工組合による現地調査（被害程度・規模の確認・写真撮影）
- ↓
- ・三宅村より依頼者への現地調査結果報告（報告書・写真送付）
- ↓
- ・職工組合との修繕方法の打合せ及び契約（請負契約）着手金の支払い
- ↓
- ・屋根修繕の施工
- ↓
- ・屋根修繕の完了（依頼者に写真送付）
- ↓
- ・契約金額の精算（着手金を差し引いた残金の支払い）

2 申し込み方法及び連絡先

電話及びFAXで申し込みお願いします。

三宅村職工組合事務所（立川地域防災センター内）

電話受け付け時間 9：30～16：00

（月曜～金曜日）

電話 042-529-1055（直）

FAX 042-529-1080

平成14年1月10日

平成14年1月10日発行
会報 第78号

会員数 381名
男性 152名
女性 229名

シルバー



みやげ

編集発行

〒100-0033 東京都千代田区飯田橋3-10-3
シニアワーク東京2階
TEL; 03-3239-4343
FAX; 03-3512-3477

謹んで、新年のお慶い申し上げます

シルバーパワー2002年始動

正月七日くもり空の下、はち切れんばかりのシルバーパワーが都内各地で元気に就業を再開しました。また、江戸川区熟年人材センターで特別会員十一名を受入れて頂き、新たに就業を始めるという嬉しいニュースもありました。

昨年暮れの七十日間に延べ二、三三七人の就業実績を上げた「三宅島民就労対策事業」の各現場では、「久しぶりの顔合わせに「おめでとう」、「また、頑張

るべよ」、「カゼひかなかった？」とにぎやかな仕事始めになりました。一番の天恵、八王子市の都立大はこの日キャンパス一面に

新年、明けましておめでとうございます。『今年こそ故郷へ』という熱い想いを胸に異郷の地で、二回目のお正月を健やかに迎えられましたでしょうか。

待ちに待った二十一世紀の幕明けを島を離れて迎えることになろうとは夢にも思わなかつたこと。厳しさが身にしみわたる新世紀のスタートとなつてしまいました。

今こそ奮起を！

会長 平松尚志

幾多の荒波を乗り越えてきました。七転八起の人生を味わった私たちが、今こそ奮起し若さを保ち、慣れない土地でひたひたに汗する喜びを分かち合うことが三宅島の復興を促し、故郷への道を切り拓く大きな力になるものと確信しております。

尚志

火砕灰におおい尽くされ、泥流に引き裂かれた大地にも、やがて新しい生命がよみがえり、さえずる小鳥の声で目覚めるときが必ずやってくることを祈ります。



霜柱。水溜りには氷の張るいちばんの冷え込みになりました。朝八時半、三七人の会員が初出勤。打合せの後年齢や体力に合わせて除草、竹林の間伐、植木の剪定、支柱の撤去などそれぞれの持ち場に散っていきまされた。除草の跡をみて、大学の関係者は「子供が裸足でも遊べますねえ」と感心することしきりでしたが、みんなの肩越しには都会での仕事にちよつびり自信が伺え、頼もしく見えました。

めげず、十三人が校内の清掃や除草に汗を流しました。「孫にも逢えるし、ここに来るのが楽しみだよ」、「便秘もなおつちやつた」と笑いとばしていた会員さんたちのいつもの暖かい春の訪れを願わずにはいられませんでした。

子供の頃から、噴火は六十年に一度と言いつつ聞かされて育ったものですが、最近では約二十年の周期に加えて、今回の噴火では有史以来の二酸化硫黄の大量放出という、世界に類例のない災害に見舞われています。私たちが戦う時代は、日本の歴史的不況と戦争の時代に生まれ、

避難と同時に、飯田橋のシニアワーク東京に臨時事務所を開き、就業を通して高齢の皆さんと地域社会を結び、生きがい拠点として、少しでもお役に立てればと役員一同鋭意努力いたしております。都や三宅村は、緊急地域雇用創出特別交付金による事業採択に

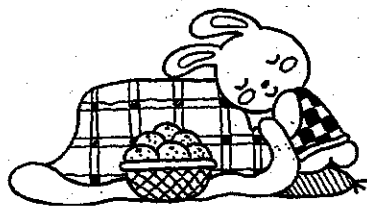
積極的に取り組んでおられます。三宅村シルバー人材センターの命運を握ると云っても過言ではない本事業の具現化に向けて、関係各機関との連携を密にしながら就業機会の開拓と皆さんの福祉向上に努めて参ります。

《就業実績》三宅島民就労対策事業関係

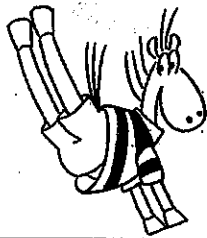
氏名	10月		11月		12月		合計	
	実人員	延日人員	実人員	延日人員	実人員	延日人員	実人員	延日人員
東京都立大学	27	184	48	553	46	512	121	1,249
都立産業技術研究所	15	102	20	306	20	269	55	677
都立三宅高校	14	67	14	174	14	170	42	411
合計	56	353	82	1,033	80	951	218	2,337

地区別就業実績
望んで待っています。

平成 1 4 年 1 月 1 0 日



広場



投稿歓迎

皆様のご意見やお便りをお待ちしています。詩歌やエッセイなど大歓迎、ご投稿下さい。

三宅村シルバー ホームページ・アドレス
<http://www.sjc.ne.jp/miyake/index.htm>
 E-mail) =miyakesc@tokyosilver.or.jp

理事会開催

十二月十七日、シニアワーク東京の会議室で第四回理事会が開催された。
 師走の多忙な時節にもかかわらず、理事・監事九名の出席を得て十三時三〇分から開会し、新規加入会員の承認及び事務局から五件の報告事項の説明があり、十五時四十分を終了しました。主な議題は左記のとおり。

記

★承認事項
 一、新規加入会員の承認について
 審議の結果、付議された三十八人の加入が承認されました。

★報告事項
 一、平成十四年度以降の事業運営について
 二、平成十四年度三宅村補助金所要調書提出のについて
 三、十一月分事業実績について
 四、緊急地域雇用特別交付金事業の実施状況について
 五、平成十四年度事業の見通しについて
 ◎報告の中で、事務局長はこの一年間の就業状況を踏まえ、今後の事業運営について次のように述べました。
 当然のことながら、民間企業

での就業条件は大変厳しく、ましてや、島で生まれ育った会員にはなじまないケースも多くみられ、今後は公共事業の受託及び特別会員の就業拡大に総力をあげて取り組んで参りたい。今年度中には、会員が四百名を超えるのは確実と思われる。その約七〇%が六五歳以上の高齢者で、当センターはいわゆる『就労弱者』で構成されている。避難生活が長期化すればするほど弱い立場にある高齢者の健康維持、経済的自立や支援の問題が深刻化するであろう。これらの問題を解決するため緊急地域雇用創出特別交付金による事業拡大を東京都や三宅村にお願ひし、会員の就業確保を図ることが最善の途と考える。

シルバーに想いを寄せて

田中守幹(七五歳)
 会員それぞれ 島育ち
 年はどつても 負けないと
 燃える気持と 手紙に託し
 お互い仲よく 助け合ひ
 頑張りぬこう シルバーで
 明るい笑いの 仲間たち
 話はやつぱり 島のこと
 家族のような 零団気
 明日逢うのを 楽しみに
 待っているよと はずむ声

★入会しました

島沢昭和 白石せき
 桜田倫己 桜田きえ
 福澤信哉 鈴木純
 鈴木イツ子 高松
 山本ウメ子 山本照雄
 前沢ハマ江 鈴木晴次
 笹本与三郎 笹本三枝
 坂田春江 島沢一美
 池田五十子 勝田ふさ江
 池田さかえ 池田金好
 浅沼美佐子 宮沢竹次郎
 田村安太郎 有馬美智子
 前田中子 宮澤邦江
 田中ミト工 桜田剛
 高松福造 宮下子工
 池田務一本 佐藤洋子
 松岡好一 山本三郎
 鈴木木護 山本満治
 長い間ご苦勞様でした
 玉城長之助 福澤栄美子
 木村シズ江 田中保三

★退会しました

確定申告に必要です。

『確定申告』とは、その年の所得を申告して税金の払い過ぎや不足を計算し、調整するものです。平成十三年一月から十二月までに受け取った配分金は、雑所得となり確定申告が必要となります。年金やその他の収入があれば、それも合わせて申告して下さい。申告には『支払調書』が必要となりますので、近

日中に送ります。

この支払調書は再発行できませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。
 詳しくはお近くの税務署又は芝税務署にお問合せ下さい。

配分金支払日

配分金はあなたの口座に振り込みます。
 ▼二月十二日(火)
 ▼三月十一日(月)
 ▼四月十日(水)

平成13年11月分事業実績 (単位:円)

月	区分	受託件数	就業延日人員	契 約 金 額			計
				配分金	材料費	事務費	
11	公共	6	1,137	6,493,230	234,938	576,800	7,304,968
	民間	6	365	2,235,790	0	19,820	2,255,610
	計	12	1,502	8,729,020	234,938	596,620	9,560,578
累計	公共	19	2,438	13,279,620	302,838	649,850	14,232,308
	民間	50	1,836	11,346,604	0	118,564	11,465,168
	合計	69	4,274	24,626,224	302,838	768,414	25,697,476